【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2004-226399(P2004-226399A)
【公開日】平成16年8月12日(2004.8.12)
【年通号数】公開・登録公報2004-031
【出願番号】特願2004-5179(P2004-5179)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｊ　3/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｊ　3/18

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月21日(2006.12.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
分散性媒体を通る光ビームの１つより多くの通過を利用してモノクロメータ内における光ビームの波面を分散方向に対して反転するシステムにおいて、前記システムが、
少なくとも１つの反射表面を有する少なくとも１つの光学部品を備え、
前記少なくとも１つの光学部品は、前記光ビームを第１の光路から偏向させ、かつ、この偏向された光ビームを前記第１の光路と同軸の第２の光路に沿って向け直すために、前記分散性媒体を通る前記光ビームの連続的な通過間において前記光ビーム内に配置されたときに、前記第２の光路内における前記波面が、前記第１の光路内における前記波面から分散方向に対して反転されるように動作可能であり、
前記反転が、前記少なくとも１つの光学部品の位置に依存して可逆的に動作可能であり、前記反転が、前記第１の光路と同軸をなす軸のまわりに直角に、前記少なくとも１つの光学部品を向け直すことによって可逆的に動作可能であることからなる、システム。
【請求項２】
前記少なくとも１つの光学部品が、複数の光学的に全反射性の表面を含む、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記モノクロメータが、直列デュアルモノクロメータである、請求項１に記載のシステム。
【請求項４】
前記モノクロメータが、前記分散性媒体を通る前記光ビームの２つの通過を利用する、請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
前記反転が、前記モノクロメータの動作を、加算モードと減算モードとで切り換えるよう動作可能である、請求項１に記載のシステム。